

## 人とつながることで、豊かな心の育ちを願う

はじめに

私たちは、コミュニティ・スクール研究推進校として、子ども達の保護者はもちろん地域の方々の学校教育に対する思いや願いときちんと向かい合う事を大事にしたいと考えました。これまでも、学年部会をはじめとするPTAの様々な会議や学校行事等の機会、あるいは保護者対象学校評価アンケートなどを通じて、直接・間接に学校教育に対する皆様のご意見やご要望を知り、それに応えられるよう努めて参りました。今回は「地域と共に創る学校」として、アンケートの対象を保護者の皆様だけでなく、地域の様々な組織で活躍していらっしゃる方々にまでひろげました。また皆様の「生の声・率直な表現」にこだわり、内容を自由記述式としました。アンケートの内容（質問）については出来るだけ自由に個性的で多様な回答が可能になるよう間口を広げました。また、コミュニティ・スクールが目指している「地域と共に創る学校」の切り口から、以下の4つに絞りました。

- 1・双葉西小学校の子ども達について、どんなことを望みますか
- 2・双葉西小学校について（教職員についても含む）どんなことを望みますか
- 3・双葉西小学校の住民についてどんなことを望みますか
- 4・学校応援団の活動についてどのように考えていますか

以下、アンケート集計結果をもとに分析を試みます。

### 1 「徳・体・知」の順でバランスのとれた教育

学校教育の内容は一般的に「知育・徳育・体育」と表現されます。「人間の教育」としてはこれらのどれもが大事であり、またバランスよく学ばれることが求められます。「学校教育」は「知識を学ぶ場＝勉強の場」として「知育」がまず位置付き、次に「道徳を学ぶ場＝友達や先生と共によりよく学ぶ場」として「徳育」が、さらにそれらを支える「体づくりを学ぶ場＝丈夫な身体を育てる場」として「体育」と続きます。少し前の時代までは、学校教育・家庭教育・社会教育のそれぞれが担う範囲や対象とする人や内容が明確に分かれており、それぞれが役割を果たすことによって健全な子どもの教育が行われ、学校は「知育・徳育・体育」の順で事に当たることが出来ました。しかし、社会の急激な変化によって、家庭や社会で自然に、日常的に行われていた内容（家事や農作業や地域行事への参画などによる体験的な学習を通しての善・悪の判断・生活上必要な技術など）の教育が困難となり、それらを学び身につける場として「学校教育」はその責務を負うこととなります。「道徳教育の充実」「生活科」「総合的な学習（環境・福祉・平和・国際理解

・キャリア（生き方・職業）・食）」はその象徴ともいえます。学校は次第に多忙化、複雑化しました。また「基礎的基本的な学力の向上」を保障しながら、価値観が多様化した保護者の要求に応えるために、学校は相当な「学校力」を持たねばならないのです。今回の「双葉西小学校の子どもに望むこと」のアンケートの結果を読み取ると、圧倒的に多かったのは、「思いやりのある子ども」次に「明るく元気で素直な子ども」と続きます。これらが実践的な行動や態度となって表れる「元気よく笑顔で挨拶の出来る子ども」「誰とでも仲良くできる子ども」「地域の行事に参加し地域の人とつながる子ども」という表現も多く寄せられました。保護者や地域の方々が双葉の子ども達に求めるのは、まず「心豊かな子ども＝徳育」だということです。「明るくのびのびと元気な子ども＝体育」ともいえます。つまり、家庭や社会（地域）で大事に育ててきた教育の内容を、保護者や地域の方々が強く自覚し、求めているということです。そしてそのために子どもが地域に関わることを期待し、地域は子どもを受け入れ協力する用意があるということです。育てるべき子どもの姿の柱が見えてきました。

## 2 「学校力」「教師力」「授業力」の向上

双葉西小学校（教職員を含む）に期待することについて保護者の方々と地域の方々両方から多く寄せられたキーワードは「学校の毅然とした態度」と「信頼関係」でした。「ものの善し悪しについて遠慮せず強い指導がほしい」という声はとても多く、このごろの学校は保護者の顔色をうかがい本来すべき指導を怠っているのではないかという指摘です。また、「子どもが納得のいくようなほめ方やしかり方をすれば子どもや保護者との信頼関係が深まる」という指摘には、教師は児童理解の力を高め生活指導の力を磨かねばならないという願いを感じます。この点について保護者はさらに「子ども達の個性（よさ）を大事にしてほしい」「子どもとコミュニケーションがよくとれる関係でいてほしい」という声を多く寄せています。学校は地域に開きながら、学校教育の方針や具体的な取り組みについてこれまで以上に説明し、理解をいただくように努力しなければならないと考えています。授業参観や学校行事などこれまでであった学校開放の機会を見直し、期間や回数を見直し、内容の検討などを行います。また、「今学校ではこのような学習や活動に取り組んでいるのは、このような理由からである。」ということを常に発信していく態勢としてホームページへの書き込みの更新や、学校だより・学年便り・学級通信などの紙面の充実をめざします。保護者や地域の方々もこれらの情報について関心を高く持って頂き、じっくりと丁寧に読んで頂きたいと思います。そして、これらの情報についてのご意見やご感想を学校に伝えて頂けるような双方向の仕組みを工夫します。学級学年懇談会（学年部会）の方法や内容についても保護者の方々にもアイデアをいただきながら改善を進めますので、多くの方々の積極的な参加をいただく中で、よりよい意見交換の場にしたいと考えます。

また、このアンケート項目では魅力ある授業「先生の得意分野を活かす・地域の教材を取り入れる・体験を大事にする」を求める声も寄せられました。この点につきましては教

職員の本分でありますので自己研鑽と共に、校内研究を軸に教職員集団としての研究・研修を充実させ、共に学びあう雰囲気づくりを一層推し進めているところです。教育の専門職としての使命と理想を高く持ち、職員一丸となってより質のよい授業の実現を目指します。学校応援団の方々の参加により、素晴らしい学びが編まれることを願っております。

### 3 声をかける「勇気」と声をかけてもらえる「感謝の気持ち」

「双葉西小学校の住民についてどんなことを望みますか」という問いに対してのキーワードは「見守り」と「声かけ」です。登下校をはじめとする地域での子ども達の安全や安心を保障するために、今も沢山の方々が関わって下さっています。交通事故や不審者、不慮の事故などに備えての通学路での声かけや旗振りの活動です。犯罪の抑止力として大変効果があります。また、声をかけることによって「子どもとのふれあいやコミュニケーションが深まり嬉しい」という声をいただく一方で、「声をかけても無視をする」「注意をしても素直に聞かない」ことが度重なるため意欲をなくすという声も少なからずいただきました。前の項目1でふれた「元気よく笑顔で挨拶の出来る子ども」「誰とでも仲良くできる子ども」「地域の行事に参加し地域の人とつながる子ども」を求める地域の方々や保護者の方々の願いの根源には、このような改めるべき現実、改善すべき児童の実態があるということでしょうか。また、若い保護者の中に、地域の人から「声をかけてもらってあたりまえ」「見守ってもらうのは当然」という意識や態度の方がいることを憂う声も寄せられました。シニアの世代と親世代とで地域活動に対する考えや思いのずれや温度差を指摘する声もあります。家族以外の大人に声をかけられること、ましてや叱られることに慣れていないのは子ども達ばかりでなく、若い世代の親の中にもその傾向があるということにもなるでしょう。また、公民館や地域の行事とスポーツ少年団活動との折り合いのつけ方など、これらについては、一朝一夕に解決することは容易ではないと思いますが、家族会議や地区での会合や学校支援地域会議などの機会あるごとに、話題として取り上げ辛抱強く語り合う事が大事ではないでしょうか。双葉地域の子どもとして将来にわたって必要な力を身につけ、未来を拓く健全な子どもに育てることを第一に考えれば、結論は自ずから導き出されると考えます。

子ども達には「双葉の子どもとして、双葉の大人（とくにおじいちゃんやおばあちゃんたち）と一人でも多くお友達・お知り合いになりましょう」というのを、今年の夏休みの目標の一つに加えてもらえるようお願いをしたところです。また、地域の行事への積極的な参加についても話をしました。ラジオ体操の取り組みも地域の方々とのふれあいの機会になるのではないかと願っています。

なお、今年は各地域におけるラジオ体操の取り組みや育成会のお楽しみの行事や奉仕活動・ボランティア活動の取り組みについて一覧表を作成しましたので、今後の活動の参考にして頂きたいと思っております。

## 4 学校応援団への期待と感謝

生の声を載せた方がアンケートに回答して頂いた方々の意が通じると思いますので以下に転記致します。

### ①保護者の方々の声

- ・皆様の知っていることを子どもたちにたくさん教えていただきたい。
- ・たくさんいろいろな体験をさせてあげたい。
- ・子どもがいろいろな人とふれあう機会でもあり、とても良いと思います。個人的には子どもの遊び場作り（プレイパーク etc）の活動などが進められれば嬉しく思います。
- ・1年生で、まだ参加出来ていないので何とも言えませんが是非参加したい行事です。
- ・特技、知識、技術を持っている方が指導できるクラスがあっても良いと思う。
- ・良いと思います。子どもたちがどんな事の応援で何さんかを知れば、地域の輪がもっと広がるような気がします。（学年を越えて全校で）
- ・先日下の子を預かってくださり助かりました。ぜひ続けて欲しいです。
- ・すばらしい活動だと思う。より多くの人（学生のいない家庭でも）に知ってもらいたい。
- ・協力できることは協力していきたいと思います。
- ・老若男女、様々な立場・職業の方々の話を聞いたり、教わることは子どもたちにとって一生の財産になると思います。夢や希望をもって未来・将来へ向かう子どもたちになって欲しい。
- ・ご苦労様です、とても有り難いです。
- ・その道のプロにご指導していただけることは大変良いと思います。
- ・とても良い取り組みだと思います。それで、子どもたちに特技などが増えたら嬉しいです。
- ・大変ありがたく感じています。
- ・子どもたちのため、西小のために日頃から協力いただきとても有り難いです。感謝しています。
- ・地域の方々の得意分野を生かし、西小と関わっていただくことは、子どもたちの可能性も見いだし上げることもできてとても良いと思います。
- ・何も協力出来ないが、協力してもらっている方に感謝する。
- ・学校と地域が結びつくとても良い場だと思う。
- ・とても有り難く思っています。これからもよろしくお願いします。
- ・ありがたい、感謝しています。
- ・子どもたちにとって貴重な体験が増えることはとても嬉しいです。ボランティアの方の負担が多くならないように活動して欲しいです。
- ・みんなで協力して子どもたちを育てることは良いことだと思います
- ・子どもたちのためにご尽力いただき有り難く思います。
- ・貴重な時間を子どもたちに提供してくれてありがたく思います。
- ・皆さんが忙しいところ活動していただいてありがたく心強く思っています。
- ・今ひとつ応援団がよくわかりません。いつだって応援します。でも専門の知識が特にありません。その親はどうすればよいのでしょうか。

- ・地域の人々との交流が図れてとても良いと思う。
- ・とても良いことだと思います
- ・多くの事を教えていただいてとても良いと思います。
- ・自分に得意なことがなかったり、忙しかったりしてなかなか協力できず申しわけなく思います。活動に参加していただいている地域の方には本当に感謝しています。
- ・良いと思います
- ・子どもにとっていろいろな経験が役に立つと思いますのでぜひ実行していただきたいと思います。
- ・とても良い活動だと思います。これからも続けてもらいたいです。
- ・自分たちの子どもが通っている学校について知る、子どもたちのために協力できる良い機会と考えて、沢山の保護者に参加して欲しいと考える。堅く考える保護者もいるので気軽に参加して欲しい。
- ・子どもたちが安全に生活できるように
- ・家庭ではなかなかできない体験等をさせていただき、いつも感謝しています。
- ・子どもたちへのサポートは技能のある人が良いと思います
- ・PTAも含め参加、協力できることはやるつもりです。今年度の講演会での保育も良い試みだったと思いますが、児童館の開放や卒業生（現中高生等）の協力も得られればもっとよかったです。
- ・良い試みなので活用の場を広げてもらいたい。
- ・不規則勤務等で十分参加できず心苦しいですが、登下校時の挨拶等できる範囲で学校に協力していきたいと思っています。
- ・地域の方々の協力にはとても感謝しています。自分も、我が子だけではなく、地域の子どもたちを温かい目で見守り何ができるかを考えていきたいと思っています。
- ・得意なことを登録するやり方では、人が集まりにくいのではと思う。自分の子どもに関わりながら、できる範囲でお手伝いするやり方が良いと思う。多少を学校側の手間になるかもしれないが、その都度声掛けをしていただいた方がよい。子どもが卒業すれば親も卒業していくのではと思うし入学すれば親も関わりを持つその流れで良いのでは。特別な活動については人脈を残していけば良いと思う。
- ・参加したくても家庭の都合で活動に参加出来ない方もいると思うので定期的に活動内容をお便りしたり、活動する場合はある程度（1ヶ月とか）前に連絡してもらえればみなさん都合がつく方が増えるとは思う。
- ・学校側が頼りすぎ、当たり前にならないように

## ②地域の方々の声

- ・地域に育つ子どもは、地域で守り育てるように子どもたちの手本になり子どもクラブ等を支援するボランティア活動の推進を望み実行したい。
- ・子どもの教育もですが、親の考え方を变える事が必要な気がしますが、応援団の活動の中にそんな機会が設けられないでしょうか。
- ・60年前の教師、長田兄子さん（宇津谷）の話が聞けるかな、話せたら応援団長だよね。
- ・参加してから考えたいと思います。

- ・無理をせず健康に配慮し息の長い活動を望みます。
- ・地区によって子どもが少ない現状の中で、つい関心度が薄いがこのような取り組みが非常に大事に思う。いろいろな組織を通して意見等を聞くことも必要だと思います。
- ・学校からの要請があれば、出来る限り協力したい。
- ・スポーツ・文化・遊びなど何でも体験することは重要。但しけがだけはしないようなご指導を。・積極的参加の呼びかけなど
- ・地域で出来ることは協力したいと思います。
- ・地位の方々とも子どもたちをつなぐ架け橋になってもらえれば
- ・活動に協力するので頑張ってください。

保護者の方々は共働きで忙しく、学校支援という関わりは持ちにくいけれども、学校応援団の活動について心から期待し感謝していることが伝わってきます。また、地域のシニア世代の方々を中心に様々な年代の様々なジャンルの方々に応援団としてお申し出いただき、学校としても大変嬉しく感謝しているところです。一方「学校応援団の活動についてわからない」「知らない」「初めて知った」などの声も少なからず寄せられました。今後は別表の「地域連携授業計画」や「学校支援計画表」をもとに、具体的な内容や方法や時期について、またその連絡方法や段取り等について検討を重ねたいと思います。さらには学校応援団の支援の仕組みについて学校支援地域会議等において共通理解をはかるとともに、PTA総会や学年部会をとらえて直接学校応援団の活動についてお話ししたり、学校便りやホームページ等で紹介したりしていきます。

## ○学校応援団としてお申し出いただいた学校支援の内容

- ・子育て支援（保育・子育ておしゃべりひろばなど）
- ・環境整備（草取り・池の清掃・花壇の手入れ・校舎内の清掃等）
- ・体験的な活動（昔の遊び・わらじや竹とんぼづくり・野菜作り・米作り・昔の暮らし・蛍の飼育・自然保護環境保全など）
- ・授業支援（音楽指導一般・英会話指導・書道指導・編み物や裁縫のお手伝い・調理指導  
平和学習・戦争体験講話・水の学習講師・地域の歴史・地域学習たとえばダムや高速道路など）
- ・安全安心見守り支援（登下校時の安全指導・防犯声かけ指導など）